

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2
学年・科	2年・普通科・文理探究コース				
教材	教科書	精選 論理国語 (三省堂)			
	副教材				
学習目標	多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。また、自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きていく力を育み、国語の力を育成する。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	一 論理国語へのいざない 論理力と思考力 納得の構造	<ul style="list-style-type: none"> 思考力と対比して論理力とは何かを考える。 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。 論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。 「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。 	期末 考查
	二 「情報社会」を生きる I マルジャーナの知恵		
2 学期	三 環境問題を考える 世代間倫理としての環境倫理学 学びを広げる 環境問題について考える	<ul style="list-style-type: none"> 未来世代への責任という観点から環境問題を考える。 関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする。 	期末 考查
	四 言葉を見つめる I 言葉がつくる女と男	<ul style="list-style-type: none"> 言葉とアイデンティティの関係について理解し、言語行為を通してどのようにアイデンティティが形成されていくかについて考察する。 生命科学の可能性と課題について考え、生命についての考えを深める。 	
	五 生命について考える ゲノム編集とiPS細胞		
3 学期	六 芸術について考える ミロのヴィーナス	<ul style="list-style-type: none"> 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする。 	学年 末 考查
	八 「市民社会」について考える 「である」ことと「する」こと	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。 	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p>	<p>設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報に関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p>	<p>進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。</p>

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、辞書で確認したりしましょう。新書などを読んでみるのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3
学年・科	2年・普通科・文理探究コース				
教材	教科書	新編 古典探究 (東京書籍)			
	副教材	新しい古典の学習 2 in 1 スタイル 学ぶぞ 古文と漢文 大学入試 まめまめ古文単語300			
学習目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	古文編1 随筆を読む 徒然草 方丈記 漢文編1 故事と小話 小話一四編 漢文編2 唐詩と文 文一二編	<ul style="list-style-type: none"> 随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察する。 漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べることで理解を深める 語句の意味や修辞に注意して、文章の内容を読み取る。 明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げる。 	期末 考查
2 学期	古文編5 日記を読む 土佐日記 漢文編3 史記を読む 項羽と劉邦 古文編5 日記を読む 更級日記 漢文編3 史記を読む 項羽と劉邦	<ul style="list-style-type: none"> 表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。 登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合う。 他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の心情を的確に捉える。 	期末 考查
3 学期	古文編6 軍記物語を味わう 平家物語 漢文編4 中国の知恵 寓話一五編 古文編4 和歌の世界 小倉百人一首の世界『小倉百人一首』より	<ul style="list-style-type: none"> 朗読などを通して、内容の解釈を深め、表現の特色について理解を深める。 寓話や故事成語から古代中国のさまざまな考え方に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深める。 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深める。 	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p>	<p>古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合おうとしている。</p> <p>修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り、現代に通じる内容やテーマについて考察しようとしている。</p>

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章、伝統文化に興味・関心を持ちましょう。同じジャンルの他の作品を読んだり、比べ読みしたりするのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2
学年・科	2年・普通科 文理探究コース 文系				
教材	教科書	詳説日本史 日本史探究 (山川出版社)			
	副教材	新詳日本史 (浜島書店) 要点整理ゼミナール日本史 (浜島書店)			
学習目標	1 日本の歴史と世界の歴史を関連づけ、総合的に学ぶことで歴史的思考力を身に付けることを目指す。 2 歴史を学ぶことを通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	第1部 原始・古代 1 日本文化のあけぼの 2 古墳とヤマト政権 3 律令国家の成立 4 貴族政治の展開 5 原始・古代の展望	およそ700年前から10世紀頃の日本歴史を中心に学習する。更新世の旧石器文化から完新世の縄文文化へ進んだ日本の社会は、中国・朝鮮半島の農耕文化の影響を受けて弥生文化を生み、国家の形成を進め、律令制を導入して古代国家を築いた。しかし、支配層としての貴族の地位は、やがて各地に成長した武士にとって代わっていく過程を理解していく。	中間考査 期末考査
2 学期	第2部 中世 1 院政と武士の躍進 2 武家政権の成立 3 歴史資料と中世の展望	11世紀初頭から13世紀いたる日本の歴史を中心に学習する。世界の情勢が変化する中で、日本では武士が成長し、院の権力が伸長した。12世紀になると、武士による政権が生まれた。武士は各地で荘園・公領の支配権を貴族層から奪い、しだいに武家社会を確立していく過程を理解していく。	中間考査 期末考査
3 学期	第3部 近世 1 近世の幕開け 2 歴史資料と近世の展望	世界やアジアの経済・交易が活発になる中、16世紀末には日本列島の権力を1つに統合した天下人が出現した。そのもとで武士・百姓・町人あり方も大きく変化したことを理解していく。	学年末考査

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考査の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史を学ぶことを通じて、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、現代日本の課題を探究することを目指しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2
学年・科	2年・普通科				
教材	教科書	高等学校 新公共 (第一学習社)			
	副教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート (第一学習社)			
学習目標	広い視野に立って、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、人間としての在り方・生き方について考える基礎的な力を養い、良識ある公民としての必要な能力を養うことを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 編 公共の扉 1 公共的な空間を作る私たち 2 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3 公共的な空間における基本原理	現代社会を社会生活の面から捉える。 青年期の課題と私たちの社会への参加について考察する。 現代社会における地球環境問題・資源エネルギー問題さらに生命倫理などの諸課題についてその要因や取組について学習する。 哲学や宗教、先人の教えからよく生きることとは何かについて考察する。	中間 期末 考查
2 学期	2 編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 1 法的な主体となる私たち 2 政治的な主体となる私たち 3 経済的な主体となる私たち	日本国憲法の成立とその基本原理を学習する。 現代の民主社会について学習し、私たちが国や地方の政治にどのように参加すべきかを考察する。 現代社会を政治の面から捉える。 民主政治の原理と成立の歴史、また、民主政治を推進するために果たすべきことについて学習する。 現代社会を経済の面から捉える。 経済とは何かを学習し、経済活動の中心を担う企業の活動を通して、日本経済の現状と課題を学習する。	中間 期末 考查
3 学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 1 ケーススタディ	発展途上国と先進国との共生、自由や幸福を次の世代にわたって受け継ぐための課題について考察する。 グローバル化が進んでいる国際社会を経済・政治の両面から学習する。 世界から求められわが国の役割を理解し、共生社会の実現を目指して私たちがどのように行動すべきかを考察する。	学年 末 考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	現代社会の課題や構造について学ぶことで、公民として将来を生きる私たちに必要な知識を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 文系				
教材	教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)			
	副教材	新課程 Study-upノート 数学Ⅱ+B (数研出版)			
学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について学習する。 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 	中間 考查
	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 	
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> 座標や式を用いて直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 座標や式を用いて円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識したり、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表したりすることを学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	
2 学期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 加法定理について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	中間 考查
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 対数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	期末 考查
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味を学習し、それらの有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 導関数の理解を深め、導関数の有用性を認識できるようにする。 積分の考えについて学習し、それらの有用性を認識する。 	学年 末 考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p> 考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。 </p>
アドバイス	<p> 日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。 </p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 理系				
教材	教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)			
	副教材	新課程 教科書傍用 3 TRIAL 数学Ⅱ+B (数研出版)			
学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査	
1 学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の乗法・除法及び分分数式の四則計算について学習する。 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 座標や式を用いて直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 座標や式を用いて円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識したり、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表したりすることを学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	中間考査 期末考査	
	2 学期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 加法定理について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 指数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 対数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	中間考査 期末考査
		3 学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味を学習し、それらの有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。 導関数の理解を深め、導関数の有用性を認識できるようにする。 積分の考えについて学習し、それらの有用性を認識する。

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。
------	---

アドバイス	日々の授業を大切にし、課題に丁寧に取組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。
-------	---

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 文系				
教材	教科書	新編 数学B (数研出版)			
	副教材	新課程 Study-upノート 数学II+B (数研出版)			
学習目標	数列, 統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を習得して, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学的に考察する力や, 数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期			
2 学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	・数列やその一般項の表し方や基本的な数列として等差数列、等比数列とその和について学習し、これらの数列を様々な事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
	第2節 いろいろな数列	・和の記号 Σ の表し方、性質や活用方法について学習し、いろいろな数列の一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	
	第3節 漸化式と数学的帰納法	・数列の帰納的な定義について学習し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解した上で様々な命題の証明に活用できるようにする。	期末 考查
3 学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	・確率変数と確率分布について学習し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	学年 末 考查
	第2節 統計的な推測	・母集団と標本、標本平均について学習し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用できるようにする。	

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり解決の過程や結果を振り返って考察したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p> ① 考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。 </p>
アドバイス	<p> ② 日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。 </p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 理系				
教材	教科書	新編 数学B (数研出版)			
	副教材	新課程 教科書傍用 3 TRIAL 数学Ⅱ+B (数研出版)			
学習目標	数列, 統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を習得して, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学的に考察する力や, 数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期			
2 学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	・数列やその一般項の表し方や基本的な数列として等差数列, 等比数列とその和について学習し, これらの数列を様々な事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查 期末 考查
	第2節 いろいろな数列	・和の記号 Σ の表し方, 性質や活用方法について学習し, いろいろな数列の一般項や和を求めたり, 和から一般項を求めたりできるようにする。	
	第3節 漸化式と数学的帰納法	・数列の帰納的な定義について学習し, 漸化式から一般項が求められるようにするとともに, 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また, 数学的帰納法の仕組みを理解した上で様々な命題の証明に活用できるようにする。	
3 学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	・確率変数と確率分布について学習し, 期待値や分散, 標準偏差などを求めることを通じて分布の特徴を把握できるようにする。また, 連続型確率変数についても理解し, 正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	学年 末 考查
	第2節 統計的な推測	・母集団と標本, 標本平均について学習し, 特に標本平均については, それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また, 母平均や母比率の推定, 正規分布を用いた仮説検定ができるようにし, それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用できるようにする。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり解決の過程や結果を振り返って考察したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p> 考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など, 全ての学習活動を評価の対象とし, 上記の3つの評価規準から総合的に評価します。 </p>
------	--

アドバイス	<p> 日々の授業を大切に, 課題に丁寧に取り組んで, 継続して学習を積み重ねていきましょう。 </p>
-------	--

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 理系				
教材	教科書	高等学校 物理基礎 (第一学習社)			
	副教材	プロGRESS物理基礎 (第一学習社)			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方に関する資質・能力を身に付けさせる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第I章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 第2節 力と運動の法則 第3節 仕事と力学的エネルギー	・さまざまな物体が運動している(直線運動・加速度運動・等加速度直線運動)が、共通した法則性があることを理解し、物体の運動は、はたらく力と密接にかかわっていることを学習する。	中間 期末 考查
2 学期	第II章 熱 第1節 熱とエネルギー 第III章 波動 第1節 波の性質 第2節 音波	・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から理解し、ジュールの歴史的な実験などを取り上げ、熱と仕事の変換について学習する。 ・身の回りには、音波・光波・地震波・電波など、さまざまな波が存在し、それぞれに共通する基本的な性質を理解する。また、音波に着目し、波としての音の性質について学習する。	中間 期末 考查
3 学期	第IV章 電気 第1節 静電気と電流 第2節 電流と磁場 第3節 エネルギーとその利用	・電気に関する基本的な物理量を学習し、電気と密接に関わる磁気の性質について学習する。また、太陽光・風力・水力・原子力などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、電気エネルギーへの変換を中心に、物理学的な観点から理解する。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、観察・実験などを行うとともに実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、事実に基づいて科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、物理的な事物・現象を科学的・意欲的に探究しようとしている。

評価方法	定期考查、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価する。
アドバイス	身のまわりのさまざまなもの(橋・自動車・ICカードなど)が、物理と密接に関わっていることを理解し、法則性などを調べて授業内容と関連させていこう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	2
学年・科	2年・普通科 文理探究コース 理系				
教材	教科書	高等学校 化学 (第一学習社)			
	副教材	レッツトライノートvol. 1, レッツトライノートvol. 2 (東京書籍)			
学習目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第I章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 ・物質の三態、熱運動と圧力 ・飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 第2節 気体の性質 ・気体の法則・気体の状態方程式 ・理想気体と実在気体 第3節 固体の構造 ・金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶の構造	<ul style="list-style-type: none"> 物質の三態の変化に伴う熱の出入りを理解する。 物質の沸点・融点を分子間力や化学結合を理解する。 気体の圧力が気体分子の熱運動に関係を理解する。 状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式を理解し、その応用を学習する。 理想気体と実在気体との違いを理解する。 金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶の構造について理解する。 非晶質について理解する。 	中間 期末 考查
	第4節 溶液の性質 ・溶解と溶液 ・希薄溶液の性質 ・コロイド 第II章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 ・化学変化とエンタルピー変化 ・ヘスの法則・結合エネルギー ・化学反応と光 ・エントロピー 第2節 電池・電気分解 ・電池・電気分解・電気分解の応用	<ul style="list-style-type: none"> 溶解のしくみを理解する。 凝固点降下、沸点上昇、浸透圧の定量的な取扱いを理解する。コロイドを理解し、その溶液の性質を理解する。 化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が熱の発生や吸収となって現れることを理解する。 ヘスの法則、結合エネルギーを理解する。 化学反応には、光を放出・吸収があることを理解する。 電池のしくみおよび電気分解を、物質の変化量が流れた電流量を酸化還元反応と関連付けて理解する。電解精錬や熔融塩電解を理解する。 	中間 期末 考查
3 学期	第3節 化学反応の速さ ・反応速度・化学反応の速さと濃度 ・化学反応の速さと温度 ・触媒 第4節 化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 ・平衡定数 ・平衡移動 第5節 電離平衡 ・電離平衡と電離定数 ・電離定数とpH・塩の性質と反応 ・緩衝液と緩衝作用 ・溶解度積	<ul style="list-style-type: none"> 反応速度が単位時間内に変化する物質の量で表されることを理解する。 反応速度と濃度、温度との関係を理解する。 触媒の働きとその利用を理解する。 弱酸、弱塩基の電離平衡や水の電離平衡を理解する。 pHについての理解を深め、平衡定数の応用を理解する。 塩の性質とその反応について、化学平衡の概念から理解する。 緩衝液とその作用を理解する。 溶解度積を理解する。 	学 年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	化学的な事象・現象についての化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験による検証から、分析や解釈をしようとしている。 報告書を作成したり、発表したりして、科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し、科学的に探究しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、授業の取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	身近な現象に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、化学に関する本で確認したりしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
学年・科	2年 普通科 キャリア探究コース、文理探究コース (文系)				
教材	教科書	高校生物基礎 (実教出版)			
	副教材	高校生物基礎エブリィノート、新コンセプトノート生物基礎			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、実験観察などを通して科学的に探究する力、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様化と共通性について理解する。 細胞とその内部構造について、実験観察を通して学ぶ。 呼吸と光合成の概要から、生命活動のエネルギーと代謝について、また酵素の働きについて学習する。 光合成や呼吸とATPのはたらきについて理解する。 DNAの構造や性質、DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を、研究史などを通して理解する。 体細胞分裂の際のDNAの複製と分配の仕組み、細胞周期との関係性を理解する。 	中間 考查 期 末 考 査
	2節 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 生命現象にはタンパク質が関わっていること、タンパク質はDNAの遺伝情報に基づき合成されることを学ぶ。 動物は内部環境としての体液をもち、体液は外部環境が変化しても一定に保たれていることを理解する。 恒常性と神経系と内分泌系の働きについて理解する。 血糖濃度調節のしくみと、起因する疾患について学ぶ。 ヒトを中心に生体防御の仕組み、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。 同じ疾患に再度かかりにくい理由を考察し、二次応答のしくみについて学習する。 ヒトの身近な免疫疾患について理解を深める。 	中間 考 査 期 末 考 査
2 学期	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA		
	2節 遺伝情報とタンパク質の合成		
	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境		
	2節 体内環境の維持のしくみ		
3 学期	3節 免疫		
	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 生物が地球上の様々な環境に適応することにより生態系の多様性がもたらされていることを理解する。 遷移が進行する理由について学び、周囲の環境について考察する。 地球上には多くのバイオームが成立している理由について学習する。 人為的攪乱により生態系のバランスが崩れる場合があることを理解する。 生態系の保全の重要性について認識する。 自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 	学 年 末 考 査
	2節 植生とバイオーム		
	3節 生態系と生物の多様性		
	4節 生態系のバランスと保全		

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究する態度が身に付いている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの生物や生物現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
学年・科	2年 普通科 文理探究コース 理系				
教材	教科書	生物基礎 (実教出版)			
	副教材	アクセスノート生物基礎 (実教出版)、生物実験ノート (高教研理科部会生物部門)			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、実験観察などを通して科学的に探究する力、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様化と共通性について理解する。 細胞のその内部構造について実験観察を通して学ぶ。 呼吸と光合成の概要から、生命活動のエネルギーと代謝について、また酵素の働きについて学習する。 光合成や呼吸とATPのはたらきについて理解する。 DNAの構造や性質、DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を、研究史などを通して理解する。 体細胞分裂の際のDNAの複製と分配の仕組み、細胞周期との関係性を理解する。 	中間考査 期末考査
	2節 生物とエネルギー		
2 学期	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> 生命現象にはタンパク質が関わっていること、タンパク質はDNAの遺伝情報に基づき合成されることを学ぶ。 動物は内部環境としての体液をもち、体液は外部環境が変化しても一定に保たれていることを理解する。 恒常性と神経系と内分泌系の働きについて理解する。 血糖濃度調節のしくみと、起因する疾患について学ぶ。 ヒトを中心に生体防御の仕組み、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。 同じ疾患に再度かかりにくい理由を考察し、二次応答のしくみについて学習する。 ヒトの身近な免疫疾患について理解を深める。 	中間考査 期末考査
	2節 遺伝情報とタンパク質の合成		
	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境		
	2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫		
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 生物が地球上の様々な環境に適応することにより生態系の多様性がもたらされていることを理解する。 遷移が進行する理由について学び、周囲の環境について考察する。 地球上には多くのバイオームが成立している理由について学習する。 人為的攪乱により生態系のバランスが崩れる場合があることを理解する。 生態系の保全の重要性について認識する。 自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 	学年末考査
	2節 植生とバイオーム		
	3節 生態系と生物の多様性		
	4節 生態系のバランスと保全		

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象についての探究の過程を通して、問題の発見、仮説設定、実験計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。報告書の作成や発表を通して表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究する態度が身に付いている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの生物や生物現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2
学年・科	2年 普通科 キャリア探究コース 総合 文理探究コース 文系				
教材	教科書	高校地学基礎 (実教出版)			
	副教材	ビジュアルプラス地学基礎ノート (実教出版)、地学学習帳 (高教研理科部会地学部門)			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、地球環境問題や自然災害などを通して自然の貴重さに気付き、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1学期	第1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 2節 プレートの運動 3節 地震と火山	<ul style="list-style-type: none"> 地球の大きさの計算方法を学び、理解を深める。また、地球の詳細な形について学ぶ。 地球表面の地形や地震・火山活動の起こっている場所から地球表面がプレートで覆われていることを学び、プレートテクトニクスを理解する。 地震・火山活動について理解を深め、自身の防災・減災活動に活用するような姿勢を育む。 	中間考查 期末考查
	第2章 大気と海洋 1節 大気構造と運動 2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候 第3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	<ul style="list-style-type: none"> 大気構造について学び、流体としての大気の運動を理解する。 地球の熱収支を理解し、地球表面で生じている大気の大循環を説明できるようにする。 日本の四季の気象について気圧配置や気象現象を学ぶ。 宇宙の誕生について、太陽系や地球の誕生との時間的、空間的スケールの違いを踏まえながら学び、自身と宇宙とのつながりを理解する。 	中間考查 期末考查
3学期	第4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層の成り方 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境 第5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	<ul style="list-style-type: none"> 地層の成り方や化石の成り方について学び、地層や化石が地球環境の変遷を証拠として残すことを理解する。 地球環境の変遷を学び、今後の地球環境の変化を予測し、対応する姿勢を養う。 現在の地球上の環境問題について学び、この社会を構成する一員として環境問題を改善する姿勢を身に付けたり、実践する意欲を養ったりする。 	学年末考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	地球科学についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	地球科学に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの地球科学の現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2
学年・科	2年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育			
	副教材				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	1 オリエンテーション 2 体づくり運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて学習する。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。	
	3 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール	・運動やスポーツにおける効果的な学習の仕方について学習する。	
	4 体育理論1 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術	・健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。	
	5 選択制授業1 6 体づくり運動	・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。	
2 学期	7 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン	・運動やスポーツの技能の上達過程の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法について学習する。	
	8 体育理論2 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム	・ペースの変化に対応して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。	
	9 ウォークラリー	・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。	
3 学期	10 陸上競技	・運動やスポーツを行う際の、さまざまな危険の予見や回避について学習する。	
	11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン		
	12 体育理論3 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保		

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
学年・科	2年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育 (大修館)			
	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館)			
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	3単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯の各段階における健康や労働と健康について学習する。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現することについて学習する。	期末 考查
	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活		
2 学期	4単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について学習する。	期末 考查
	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医療品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現する方法について学習する。	
3 学期			学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、応急手当の技能が身に付いているか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	保健体育にかかわる大切な知識を理解し、自分自身の生活と学習内容を結び付けることで、社会や世界とのかかわり方や、より良い人生を送る方法について考えてみましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
学年・科	2年・普通科 文理探究コース				
教材	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)			
	副教材	Power On English Communication II WORKBOOK (東京書籍)			
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、一定の支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	Lesson 1 Play me, I'm Yours	・助動詞+動氏の原形 ・受け身 ・S+V [be 動詞以外] +C	中間 考查 期末 考查
	Lesson 2 Ethical Fashion	・S+V+O+C [形容詞] ・S+V [使役] +O+C [原形不定詞] ・S+V [知覚] +O+C [現在分詞、原形不定詞]	
	Lesson 3 One for All, All for One	・現在完了形 ・過去完了形 ・仮定法過去の if 節を用いた文	
	Lesson 4 Vending Machines	・関係代名詞 (主格) ・関係代名詞 (目的格) ・関係代名詞の非制限用法	
	Summer Reading Going Home	・つながりを示す語句 ・登場人物の心情、話の展開、書き手の意図等を理解する ・感想を論理性に注意して話す・書く	
2 学期	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	・助動詞+受け身 ・S+V+C [分詞] ・S+V+O [if 節] ・It seems [appears] +that 節	中間 考查 期末 考查
	Lesson 6 New Banknotes	・It is [was] +said+that 節 ・形式目的語 it と that 節 ・形式目的語 it と to 不定詞 ・助動詞+have+過去分詞	
	Lesson 7 Some Secrets about Colors	・関係代名詞 (所有格) ・前置詞+関係代名詞 ・同格を表す接続詞 that ・関係副詞 where の非制限用法	
	Lesson 8 Powered Natto Solves a Global Water Problem	・強調構文 ・強調の助動詞 do ・直前の文を先行詞とする関係代名詞 which ・to+have+過去分詞	
3 学期	Lesson 9 Flying after Her Dreams	・譲歩を表す副詞節 ・仮定法過去完了 ・no matter how [where, when] ・分詞構文 (過去分詞)	学年 末 考 査
	Lesson 10 To work or Not to Work?: Humans and Robots	・過去完了進行形 ・未来完了形 ・be+to 不定詞 ・insist など+that+S+V [動詞の原形]	
	Optional Reading I am Yusra. I am a refugee and I'm proud to stand for peace.	・つながりを示す語句 ・スピーチの展開や話し手の意図等を理解する ・感想を論理性に注意して話す・書く	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 学習内容の理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。

評価方法	定期考查のほか、実力テスト、授業での小テスト、パフォーマンステスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。
アドバイス	わからない単語や熟語は、辞書を引いて確認しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
学年・科	2年・普通科キャリア探究コース（総合）、文理探究コース				
教材	教科書	My Way Logic and Expression II（三省堂）			
	副教材	My Way Logic and Expression II WORKBOOK（三省堂）			
学習目標	話すこと [やり取り]、話すこと [発表] 及び書くことの三つの領域を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、一定の支援を活用すれば、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形、過去完了形 ・未来を表す表現 ・助動詞表現 (used to, should など) ・助動詞+have+過去分詞、be 動詞+to 不定詞 ・受動態 ・不定詞① 	中間 考查 期末 考查
2 学期	Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> Lesson 5 Will Our Lives Change with ALT? Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞② ・知覚動詞、使役動詞 ・動名詞 ・分詞構文、with+O+分詞 ・比較① ・比較② ・関係代名詞、関係副詞① ・関係代名詞、関係副詞② 	中間 考查 期末 考查
3 学期	Lesson 8 Language and Society Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法① ・仮定法② ・否定の表現 ・代名詞を使った表現 ・無生物主語構文 ・that を使った表現 	学年 末 考查

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 ・目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたり伝え合うことができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、自律的・主体的に表現しようとしている。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自分の意見や考えなどを整理し、多様な語句や文を用いて、詳しく話したり書いたりして伝え合おうとしている。

評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	情報	科目	情報I	単位数	2
学年・科	2年・普通科				
教材	教科書	新編 情報I (東京書籍)			
	副教材	新編 情報I 準拠ノート (東京書籍)			
学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション 1章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 4 情報モラル 5 個人情報流出 6 傷つかない傷つけない 7 著作権 8 情報技術の発展 9 情報化と私たちの生活の変化 10 よりよい情報社会へ 2章 情報を伝える 1 コミュニケーション手段の変化 2 ネットワークコミュニケーションの特徴 3 デジタルの世界へ 4 数値と文字のデジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標とシラバス、情報処理教室の使用の仕方について知る。 情報の特性から、情報とは何かを理解する。 さまざまなメディアの特性を理解する。 問題を発見、解決するための一連の流れを理解する。 情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 著作権について理解する。 人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。 メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 ネットコミュニケーションの特性について学習する。 デジタルデータとは何かを学習する。 	期末 考查
2 学期	5 音と画像のデジタル表現 6 色と動画のデジタル表現 7 目的に応じたデジタル化 8 情報デザイン 9 ユニバーサルデザイン 10 情報デザインの流れ 3章 1 コンピュータとは何か 2 ソフトウェアの仕組み 3 演算の仕組みとコンピュータの限界 4 アルゴリズムの表現 5 プログラムの基本構造 6 発展的なプログラム 7 モデル化とシミュレーション 8 シミュレーションの活用	<ul style="list-style-type: none"> 音、画像、動画のデジタル化について学習する。 デジタルでの色の原理を理解する。 情報デザインとは何かを学習する。 情報デザインの方法を使ってわかりやすい文章を作成する。 ユニバーサルデザインについて学習する。 情報デザインのプロセスを理解し、活用する方法を身に付ける。 コンピュータの基本構造について理解する。 プログラムの動作の仕組みについて学習する。 アルゴリズムの必要性を理解し、表現方法について学習する。 プログラムの作り方について学習する。 モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。 テーマを決め、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。 	期末 考查
3 学期	4章 1 ネットワークとインターネット 2 インターネットの仕組み 3 サーバとクライアント 4 インターネット上のサービス 5 情報セキュリティ 6 データの形式 7 データベースの活用 8 さまざまなデータモデル 9 データ分析の流れ 10 目的に合わせたデータの利用	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークとは何かを学習する。 プロトコルと、その1つとしてのTCP/IPについて学習する。 サーバの役割について学習する。 インターネットでのIPアドレスとDNSの役割を学習する。 情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。 データとは何かを学習する。 データベースの役割がどのようなものか理解する。 社会でのデータベースの活用例を学習する。 データ分析の流れと方法を学習する。 	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

評価方法	3つの観点の達成度を「定期考查」「実技テスト」「実習の課題」「実習や授業の態度」等を基に総合的に評価します。
アドバイス	授業では、これからの情報社会を生きていくうえで必要なことを学習します。情報モラルや情報リテラシーをしっかりと身に付けられるように取り組んでください。